

第53回全国豆類経営改善共励会の結果について

(公財)日本豆類協会

令和6年産の豆類生産で、特に経営改善の面から先進的で他の模範となる豆類生産農家及び生産集団を表彰する第53回全国豆類経営改善共励会（主催：全国農業協同組合中央会、株式会社日本農業新聞）の表彰式が、令和7年6月27日に東京大手町のJAビルにて開催されましたので、その概要を報告します。

1. 応募者と全国審査会の状況

第53回全国豆類経営改善共励会への参加点数は178点で、内訳は大豆家族経営の部77点、大豆集団の部31点、小豆・いんげん・落花生等の部に70点でした。

都道府県、ブロックの審査を経て、5月28日に全国審査委員会が対面形式で開催されました。同審査委員会には、國分牧衛審査委員長ほか8名が出席し、厳正なる審査を経て農林水産大臣賞をはじめ各賞を決定しました。なお、日本農業新聞会長賞及び日本豆類協会理事長賞の該当はありませんでした。

受賞者は、いずれも高収量・高品質を実現されながらコスト抑制も達成しており、その技術・経営内容は他の模範となるものと高く評価されました。

2. 表彰受賞者

①農林水産大臣賞

(大豆 家族経営の部)

株式会社おしの農場代表 押野和幸（山形県天童市）

②農林水産省農産局長賞

(大豆 家族経営の部)

株式会社徳永ファーム代表 徳永英憲（佐賀県佐賀市）

(大豆 集団の部)

農事組合法人いまでら（福岡県筑後市）

③全国農業協同組合中央会会長賞

(大豆 家族経営の部)

清水陽介 (福岡県宗像市)

④全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長賞

(大豆 集団の部)

戸ヶ里生産組合 (佐賀県杵島郡白石町)

● 3. 農林水産大臣賞受賞者(株式会社おしの農場代表 押野和幸氏)の経営概要

おしの農場は耕作面積120haのうち大豆作付面積が21haで、経営面積を年々拡大するなかで、大豆の耕作面積の割合も増やしています。品種は実需者からの要望に応え「里のほほえみ」を採用しています。単収は279kg/10aと高く、過去3年間平均でも313kg/10aと多収を得ており、また、大部分が上位等級(1等99.5%)と品質面でも優れています。

同農場は、額縁明渠やサブソイラによる排水を徹底しており、それが高い出芽率と健全な初期生育に結びついているものと推察されます。地力維持対策としては鶏糞(100kg/10a)を施用し、開花前にはドローンを活用して追肥を行っています。

経営全体としては農地120haの営農の効率化のため、自動操舵トラクターを活用し、スマート農業技術の導入を図っているのが特徴です。特に営農支援システム(KSAS)を活用した肥培管理や作業の合理化を図っていることは特筆すべきことです。同農場は「スマート農業技術活用促進法(2024年施行)」に基づく「生産方式革新実施計画」の全国初の認定を受けています。

押野氏は県の農業士会会長に任命されるなど、集落の中心的な農業リーダーです。

● 4. 表彰式

第53回全国豆類経営改善共励会の表彰式は、令和7年6月27日(金)午後、JAビルにて開催されました。

当日は、ご来賓の山本佐知子農林水産大臣政務官のご臨席の下、主催者の藤間則和全国農業協同組合中央会常務をはじめ関係者多数が参列し、祝辞、表彰状の授与、審査講評、受賞の言葉などがつつがなく執り行われました。

山本政務官からの祝辞では、受賞者の生産性向上に向けた技術が日本全国に普及することを期待する旨を述べられ、國分委員長による審査講評では、受賞者それぞれの特徴的な技術・経営内容を紹介したほか、今回「小豆・いんげん・落花生等の部」で全国審査に推薦が上がってこなかったことに関して、次年度には上がってくることに期待する旨を述べられました。

受賞者を代表して押野氏が受賞の言葉を述べられ、その中で、県の普及指導員、JAの営農指導員をはじめ関係者への御礼に触れつつ、大豆の半分は二人の娘さんが担っており数年の間に経営移譲すること、娘さん達がこれからの長い農業人生を歩んでいくなかで今回の受賞が心の支えになること、そして、地域の皆さんとともに技術の向上に努めていくことを話されました。

また、表彰式の後には懇親会が行われました。ここでは、フムス、大豆ミートのトマト煮、牛肉の煮込み白いんげん豆添えといった豆を含む美味しい料理が提供され、和やかな歓談のなか、各賞を受賞された皆様から経営や栽培の工夫などの苦労話や今後の抱負についてのスピーチがありました。

なお、第53回全国豆類経営改善共励会の結果については、表彰式当日の日本農業新聞に掲載され、広く関係者に周知されました。また、受賞された経営体の実績・成績概要をまとめた成績概要が共励会ホームページに掲載されていますので御覧ください。

<https://pr.agrinews.co.jp/archives/1940>

(参考) 第53回全国豆類経営改善共励会成績概要 (令和7年6月)



祝辞(山本佐知子農林水産大臣政務官)



主催者あいさつ
(藤間則和全国農業協同組合中央会常務)



農林水産大臣賞授与(押野和幸氏御夫妻)



審査講評(國分牧衛審査委員長)



受賞の言葉(押野和幸氏)



記念写真